

2023年度春の交渉 組合要求に対して

(株)センチュリートレーディングカンパニー 代表取締役社長 嶋田正男

- 2022年度の業績見込み

G会社化2年目の2022年度は、売上高こそショコラ事業の伸びを中心に前年予算を超える見通しですが、

収益に関しては、輸入商社としての特性で、戦争や円安、コスト高騰の影響を強く受け、当初の営業利益予算を達成、黒字は確保するものの厳しい結果になる見込みです。

- 2023年度に向けて

2023年度に向けては、22年度中に実施した収支構造改革の効果があらわれ組織改正を踏まえた営業力強化 商品力強化で大きく稼げる躍進の年度になります。人事制度を中心にG企業としての標準装備が完了し稼働していきます創業50周年を迎える今年は センチュリートレーディングカンパニーモデルを再構築シン・バリューチェーンを確立し将来につなげる年度と位置付けています。

- 回答

その明るい未来に向けて 全社 労使が一体になって進んでいくためにも今回の要求に関して満額の回答をさせていただきます。